公開講演会

蘇るちりめん本の魅力

―東京女子大学ちりめん本コレクションに見る日本の伝統と国際交流―

講師 ― 原田 範行

慶應義塾大学教授

2022. 7. 14㊍

16:35～18:05 6215 教室(定員 70 名)

対象:本学学生･教職員および高大連携協定校

＊協定校からの参加は Zoom となりますので、右の QR コードまたは以下の URL の申込フォームよりお申し込みください。(7/13(水)16:00 締切)

協定校申込フォーム

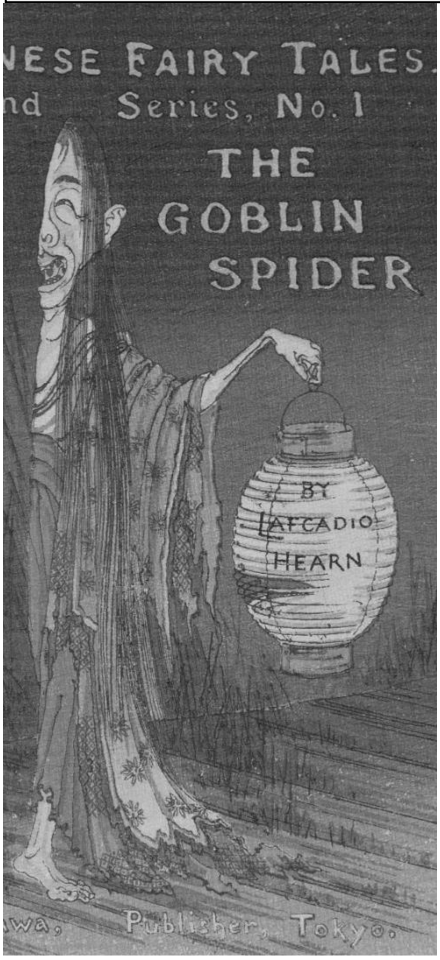
◎03-5382-6413 ◎https://www.lab.twcu.ac.jp/~icsc/event/index.html

東京女子大学比較文化研究所

公開講演会

蘇るちりめん本の魅力

―東京女子大学ちりめん本コレクションに見る日本の伝統と国際交流―



■講演梗概--

ちりめん本とは木版多色刷りの美しい和装本のことで、日本の昔話の外国語訳を中心として主に明治期に出版されました。児童文学として親しまれている日本の昔話を初めて体系化したこと、日本の昔話を英語などに翻訳して日本人の外国語教育に役立てたのみならず、それを実際に海外で販売したということ、さらには、翻訳に携わった外国人ネットワークがいち早く明治初期に成立していたという国際交流や、挿絵を描いた伝統的な絵師たちが西洋画法を取り入れて近代日本における絵画の礎を築くきっかけになったという美術史的観点など、このちりめん本は、現代日本におけるグローバル文化と日本的伝統を考える上できわめて重要な存在なのです。幸い、東京女子大学には、世界屈指のちりめん本コレクションがあり、所蔵本はデジタル化されていますので、本講演では原物とデジタル画像を存分に活用する予定です。

■講師紹介--

原田 範行　Noriyuki HARADA　慶應義塾大学教授

1963 年生まれ。慶應義塾大学文学部英米文学科卒業。同大学院文学研究科修士課程(英米文学専攻)、同博士課程(英米文学専攻)修了。博士(文学)。杏林大学外国語学部教授、東京女子大学現代教養学部教授、同学部長を経て、2019 年 4 月より慶應義塾大学文学部教授。現在、日本学術会議会員。Dr. Johnson's House in London (英国・ロンドン)理事なども務める。2021 年まで日本英文学会会長。専門は近現代英文学、比較文学、出版文化史。

最近の著訳書に、*Robinson Crusoe in Asia*(共著、Palgrave Macmillan, 2021)、『フォルモサ』(翻訳、平凡社、2021) *Recent Scholarship on Japan*(共著、Cambridge Scholars Publishng, 2020)、*Johnson in Japan*（共著、Bucknell UP, 2020）など。

2022. 7. 14㈭ 16:35～18:05　6215 教室(定員 70 名)

対象：本学学生·教職員および高大連携協定校

＊協定校からの参加は Zoom となりますので、右の QR コードまたは以下の URL の申込フォームよりお申し込みください。(7/13(水)16:00 締切)

◎03-5382-6413　◎https://www.lab.twcu.ac.jp/~icsc/event/index.html

協定校申込フォーム

東京女子大学比較文化研究所